

D I G（災害図上訓練）実施計画

長倉小学校 安全教育部

1 ねらい

近年起きている2つの震災を考えると校内での訓練だけでなく校外での訓練を実施する必要がある。児童が通学途中で地震が発生した場合、自分で判断し安全な避難行動ができる態度を養う。

- 2 日時 平成28年6月 日（月）2校時（学級活動扱い） ※雨天時は翌週に延期
一斉下校時に通学路点検の実施（P T Aの協力も得て実施、協力依頼は教頭）

～ 9：25	1時間め終了
9：25～ 9：30	移動①（班長と1年生）
9：30～ 9：35	移動②（他の学年）
9：35～10：20	2時間め

3 場所 室内集合場所

- ① 教室……………給食時のように机を4つならべ地図を置いて活動
- ② 理科室・家庭科室……1つの机を1つの班で囲み地図を置いて活動
- ③ 体育館……………床に地図を置き、輪を作って活動

4 準備

- ① 筆記用具……………班長と副班長
- ② 色鉛筆……………班長と副班長
- ③ 地図……………安全主任
- ④ 通学路に「110番の家」がどこにいくつあるかを調べておく……班員全員

5 D I Gとは

災害図上訓練（Disaster Imagination Game）といい、地図を用いて起こり得る災害を想定し地図に書き込んでいく訓練。避難経路や避難場所に対する準備、地域の地形等を把握し災害に対する理解を参加者全員で共有すること。

6 色鉛筆の使い方と記号

No	色	地図上の建物等
1	茶色	大きな道路
2	水色	川
3	赤	通学路
4	緑色	学校・公園・病院・コンビニ・公共施設等
5	オレンジ色	危険な建物・ブロック塀・石垣・橋
6	赤○	班員の家
7	青◎	子ども110番の家

7 細案

想定	児童が班の集合場所を出発し学校に向かう途中、7時40分に関東地方で大地震が発生した。班長を中心に安全な場所へ移動し教員がかけつけるまで待機する。		
時間	主な活動	児童の活動	指導上の留意点
9:35	1 児童の確認	○班長は自分の班が全員そろったかを確認する。	
9:38	2 活動場所の確保	○机を並べたり、班で輪を作ったりすることで活動場所を確保する。	
9:40	3 活動のねらいを確認	○想定とねらいを知り、班員が協力をして活動することを知る。	○ODIGを行うねらいを説明することにより自分で判断し行動する態度を養う。
9:43	4 書き込み開始	○班で話し合いながら通学途中にある書き込み可能な物を見つけ出し書きこんでいく。 ・色を塗ったり線を引いたりする活動は班員が行う。 ・印や文字などの記入は班長が行う。	○資料をもとに色鉛筆の使い方や記号の書き方を説明し班員が協力して活動できるようにする。 ・リーダーである班長が活動内容を理解できているか机間指導を行い支援する。 ・「落ちてくる・倒れてくる・動いてくる」を基準に避難場所を考えさせる。
10:10	5 各班の発表	○次の発表の仕方を参考に行う A「集合場所に近いので…」 A「学校に近いので…」 A「真ん中くらいなので…」 B「…に避難します」 C「近くの…が危険です」	○自分の班だけではなく他の班の発表を聞くことで気づかなかった危険箇所や避難場所に気づくことで自分の班の避難行動に生かすことができるようにする。 ・全部の班が発表するのは困難であるため机間指導しながら発表する班を決めておく
10:20	6 自分の教室へ移動	○活動場所をもとに戻し班長は1年生を1階まで送り届ける。	○地図を回収し、記入漏れ等の点検を行う。 ・地区責任者は、地図を取りまとめ安全主任へ提出をお願いします。